

日本史

(解答番号 1 ~ 38)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。なお、設問における史料には、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

馬は人類の歴史と特に関係が深い動物である。食用はもとより、軍事・交易・農耕・儀礼など、多様な場面で用いられてきた。では、日本列島ではどうだったのだろうか。

遺跡の発掘が進んだ今日では、縄文時代や弥生時代の日本列島での暮らしのなかに馬はいなかったと考えられている。^(a)これは、『魏志倭人伝』が伝える「其の地、牛馬虎彪羊鶻なし」という記述とも一致する。馬がはっきり確認できるのは5世紀以降であり、朝鮮半島からの渡来人や新たな技術とともにやってきたと見られる。^(b)古墳時代の古墳からの出土品や壁画にも馬が表現されており、威信の象徴だったことがうかがえる。^(c)

古代国家にとって、馬は軍事的に最も重要な資源のため、ヤマト政権の氏姓制度のもとには国家への馬の供給を担う専門集団が存在した。^(d)また律令制では、飼育・繁殖のための牧が全国各地に設けられた。平城京や平安京の古代都城では、死んだ牛馬を処理して、皮革生産や骨や脂を取り出す官営工場の存在も発掘でわかっている。^(e)

平安京では、諸国から納められた馬を天皇が上覧して競馬を催す五月節が、王権の力を示す重要な儀礼だった。それゆえ律令支配が緩むと、競馬は諸勢力の対抗の焦点となる。藤原道長は自邸でたびたび競馬を催し、摂関家の権勢を示した。さらに院政が始まると、院と摂関家は競馬の開催に加えて貴族間の馬の贈答で張り合った。そこで院が優勢になれたのは、良馬を調達可能な牧がある諸国の支配権を確保できたためだった。^(f)

中央の動きと並んで、諸国では10世紀以降、開発によって荘園となる牧が増加した。^(g)特に東国で牧の開発を進め、馬を掌握した在地領主は、武士団の起源のひとつとされる。^(h)同時に、院が主催する流鏑馬の神事を、院の配下である A が務めたように、武士は中央政界でも存在感を増していく。牧の荘園化で中央への馬の調達が滞ると、蝦夷征服後の陸奥から調達する仕組みができたが、12世紀には奥州藤原氏が、また彼らの滅亡後は鎌倉幕府が調達して献上するようになり、ここでも武家の力が誇示された。⁽ⁱ⁾

このように馬は実際の軍勢力としても、象徴的な意味でも、権力を体現した。他方で中世では諸産業の発達に伴い、馬は牛と並ぶ役畜としても普及した。商業が盛んになるなか、遠距離の陸上輸送や通信には馬が重宝された。^(j)また中世の農業生産の向上にも牛馬は不可欠だったが、西日本では牛が、東日本では馬が、よく利用されるという違いが生じた。^(k)この東西差は、高度経済成長で牛馬が役畜の役割を終える20世紀後半まで変わらなかった。

問 1 文中の空所 A に入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 1

- ① 北面の武士 ② 武者所 ③ 滝口の武者 ④ 押領使

問 2 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 2

- ① 装飾性の高い中期の縄文土器は、文様の様式から擦文土器ともよばれる。
② 縄文時代の死者は木棺墓のなかに屈葬され、共同墓地に墳丘を築いて葬られた。
③ 磨製石器の典型は、狩猟の獲物を解体するために使われた石包丁である。
④ 弥生時代には、水稻耕作の北限がすでに東北地方の北部まで到達していた。

問 3 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 3

- ① ヤマト政権は渡来人を氏姓制度に組み入れ、大連の姓を与えて統治した。
② ヤマト政権の外交文書を作成した渡来人の集団は、史部とよばれていた。
③ 百済が倭国に派遣した使節の裴世清によって、暦法が伝えられたとされる。
④ 蘇我蝦夷は、百済の技術者を用いて瓦葺きの新工法による飛鳥寺を建立した。

問 4 下線部(c)に関連して、石室に馬を描いた壁画で知られる古墳として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 4

- ① 箸墓古墳 ② 江田船山古墳
③ 竹原古墳 ④ 高松塚古墳

問 5 下線部(d)に関連して、ヤマト政権の豪族のもとでさまざまな職務に従事する専門集団を統率した氏として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 5

- ① 舍人 ② 伴造 ③ 寄子 ④ 品部

問6 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

6

- ① 京とは政府の中核である宮の周囲に条坊制にしたがって設けられた市街地を指し、有力な王族や中央豪族が集住させられた。
- ② いずれの都城も唐の長安にならって整然とした街並みで設計されたが、全体を囲む羅城は設けず、周囲に河川を利用した水域を設けた。
- ③ 摂関期に藤原氏が平安京に設けた6つの大伽藍の寺院は、寺の名に共通して「勝」が入るため、六勝寺と総称された。
- ④ 都の東西に官営の市が設けられ、平城京では週に三度開かれた三斎市が、平安京ではほとんど毎日開かれる六斎市に拡大した。

問7 下線部(f)に関連して、次の史料に関する以下の各問に答えなさい。

史料

禪定法王は、[中略]後三条院崩後、天下の政をとること五十七年、在位十四年、位を避るの後四十三年、意に任せ、法に拘らず、除目・叙位を行ひ給ふ。古今未だあらず。[中略]威四海に満ち天下帰服す、幼主三代の政をとり、齋王六人の親となる、桓武より以来、絶えて例なし。聖明の君、長久の主と謂ふべきなり。但し理非決断、賞罰分明、愛悪掲焉にして、貧富は顕然なり。男女の殊寵多きにより、已に天下の品秩破るるなり。

〔『中右記』〕

(1) 史料中の「禪定法王」に該当する人物の天皇名として最も適切なものを、次の

①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

7

- ① 鳥羽天皇 ② 白河天皇 ③ 崇徳天皇 ④ 堀河天皇

(2) 史料の内容とその歴史的背景についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

8

- ① 院が権勢を振るえた背景には、寄進された荘園からの収入だけでなく、特定の国を院分国として支配し、私領のように扱えた公領があったからだった。
- ② 寺社参詣や法会の費用を調達するために、院は専制的に官吏の人事権を行使して、遙任や成功とよばれる売位や売官を盛んに実施した。
- ③ 寵愛した近臣は女性でも厚遇したことが史料に述べられているが、実際に皇女建礼門院に与えられた荘園は膨大な数にのぼった。
- ④ この史料の筆者は、禪定法王の賢明な統治により、天下の秩序が回復したと賛美しており、摂関家に対抗して院近臣となった中級貴族と考えられる。

5 (日本史)

問8 下線部(g)に関連して、院政期の荘園についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 9

- ① 院宣により検田の免除が認められた荘園は、他と区別して国免荘とよばれた。
- ② 院近臣が上皇から与えられた荘園は御料所とよばれ、国衙が特別に保護した。
- ③ 寄進地系荘園では不輸・不入の権を持つ荘園が一般化し、国衙からの独立性が強まった。
- ④ 荘園領主は、荘園内を郷や保という単位に分割して、有力農民の田堵たちに耕作を請け負わせるようになった。

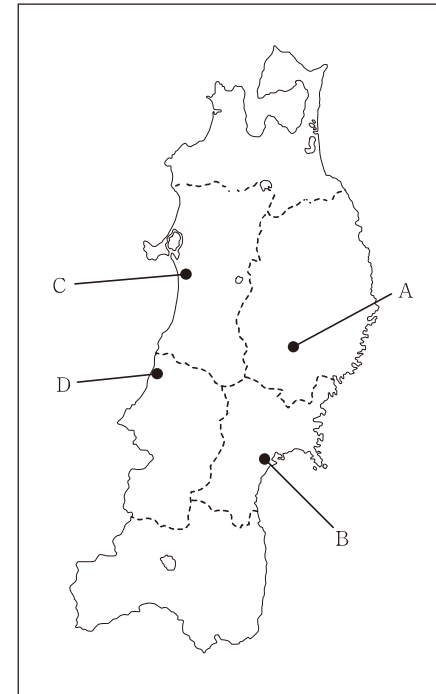
問9 下線部(h)に関連して、鎌倉時代の武士についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 10

- ① 惣領制では庶子に対する分割相続が認められなかったため、一門内で争論が頻発した結果、惣掟を定める武士団が増えていった。
- ② 地頭に任命された東国の有力御家人のうち、西国の公領に派遣されて権勢を誇った北条氏の一門は、新補地頭とよばれた。
- ③ 武士は、居住する領内の館の周辺に、年貢や公事を免除された門田や位田を設け、下人を使って耕作させた。
- ④ 鎌倉時代の後半から、荘園領主に対して武力に訴えて年貢を拒否する地頭や新興武士たちが現れ、悪党とよばれた。

(日本史) 6

問10 下線部(i)に関連して、古代国家による東北征服の過程についての記述ア～エと、下の図でそれに該当する場所A～Dの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑧の中から一つ選び、マークして答えなさい。 11

- ア 7世紀なかばにはここに城柵が設けられ、東北へ支配を拡大するための前線基地となった。
- イ 豪族の伊治磐麻呂が反乱を起こし、一時はここを攻め落とすまで拡大した。
- ウ 坂上田村麻呂が、族長の阿豆流為を帰順させ、鎮守府をここに移した。
- エ 嵯峨天皇が派遣した文室綿麻呂が築いたこの拠点を最後に、城柵は設けられなくなった。



- ① ア－C ② イ－D ③ ウ－A ④ エ－B
- ⑤ ア－A ⑥ イ－C ⑦ ウ－B ⑧ エ－D

11 (日本史)

問9 下線部(f)の事件の名称として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

22

- ① 紫衣事件 ② 尊号一件 ③ 明和事件 ④ 宝暦事件

問10 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

23

- ① ロシア使節ラクスマンが根室に来航し、高田屋嘉兵衛ら漂流民を届けるとともに通商を求めた。
 ② イギリス軍艦フェートン号がオランダ商船を捕獲するため、長崎港に侵入する事件が起こった。
 ③ ロシア使節レザノフは、ラクスマンの持ち帰った入港許可証をもって箱館に来航し、通商を求めたが、幕府に拒絶された。
 ④ ロシアとの関係がプチャーチンの来航を機に改善された結果、幕府の直轄地とされていた蝦夷地は松前藩に還付された。

問11 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

24

- ① 天保の飢饉で困窮する大坂の民衆を前に、悪徳商人のふるまいや町奉行の無策に抗議して、洗心洞の設立者である大塩平八郎が反乱を起こした。
 ② 幕府は、相模の海岸防備を担っていた小田原藩の財政を援助する目的で、三方領知替えを命じたが、徹底することができなかった。
 ③ 徳川家継は日光社参を実行して、幕府権威の復活をはかったが、幕府財政の悪化と夫役を課された農民たちの不満を高めただけであった。
 ④ 老中の阿部正弘は、上知令を出して、幕府直轄地の拡大をはかったが、譜代大名や旗本たちに反対され実施することができなかった。

問12 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

25

- ① 安政の大獄で吉田松陰が刑死させられたことに憤慨した長州脱藩の浪士たちは、大老の井伊直弼を江戸城の桜田門外で暗殺した。
 ② 幕府がフランス公使から支援を得て改革を進める一方で、薩摩藩は雄藩連合政権の実現に期待するイギリス公使から支持を受けた。
 ③ 大政奉還により機先を制せられた倒幕派は、王政復古のクーデターを執行して、天皇のもとで摂政・関白が中心となる新政府の樹立を宣言した。
 ④ 奥羽越列藩同盟の中心であり総大将である会津藩の松平家の降伏によって、戊辰戦争は終結した。

問5 下線部(b)の起点となった土佐の政社として最も適切な名称を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 30

- ① 立志社 ② 平民社 ③ 石陽社 ④ 愛国社

問6 下線部(c)に関連して、明治期の農村と農民に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

- ① デフレ政策によって貧しくなった下層農民が小作へと転落する一方、大地主が耕作から離れて小作料の収入に依存する動きが進んだ。
 ② 日露戦争後になると、地租や間接税が減額され、協同事業に成功した村が模範村として全国に紹介された。
 ③ 地租に加えて小作料も定額金納となったため、結果として地主の収入増となり、地主は小作料収入をもとにさかんに起業や投資をした。
 ④ 農政学者の柳田国男は、自らが提唱した民俗学の方法にもとづいて、困窮する農民を救うために地方改良運動を始めた。

問7 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 32

- ① ロマン主義文学から出発した泉鏡花は、貧窮や流浪の生活をうたった生活詩もつくった。
 ② フランスやロシアの文学の影響によって、人間社会の暗い現実の姿をありのままに写し出そうとする写実主義が流行した。
 ③ 人道主義・理想主義を掲げる雑誌『白樺』が生まれ、武者小路実篤の『月に吠える』が掲載された。
 ④ プロレタリア文学運動のなかで雑誌『戦旗』が創刊され、小説では徳永直の『太陽のない街』が発表された。

問8 下線部(e)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 33

X 瓦版の伝統を引き継ぐ小新聞が、文明開化の世相や勧善懲悪を描いた山田美妙らの戯作文学を掲載して人気を博した。

Y 私鉄の経営するターミナルデパートが現れ、モダンガールやモダンボーイが銀座や心斎橋を闊歩するようになった。

- ① X — 誤 Y — 誤 ② X — 誤 Y — 正
 ③ X — 正 Y — 誤 ④ X — 正 Y — 正

問9 下線部(f)の時期の社会運動についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 34

- ① 柳田民蔵は、普通選挙によって民意を政治に反映させる民主主義を唱え、デモクラシーを要求する声がしだいに強まった。
 ② 新婦人協会による運動の結果、女性の政治運動参加を禁じた治安維持法第5条が改正されて、女性も政治演説会に参加できるようになった。
 ③ 農村で小作料の引下げを求める小作争議が頻発し、賀川豊彦らによって全国組織である労働農民党が結成された。
 ④ 急進的自由主義を唱える『東洋経済新報』は、朝鮮や満州など植民地の放棄と平和的な経済発展を主張した。

問10 下線部(g)を結成した人物名として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 35

- ① 奥むめお ② 景山英子 ③ 山川菊栄 ④ 木下尚江

17 (日本史)

問11 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

36

- ① 日本共産党は、最高幹部の徳田球一らが転向を表明したことで転向者が続出した結果、組織的活動を停止した。
- ② 東京帝国大学の植民地経済政策の研究者が、政府の大陸政策を批判したことで大学を追われた矢内原事件が起きた。
- ③ 衆議院で上杉慎吉が反国家的との攻撃を受けると、岡田啓介内閣が国体明徴声明を発して上杉の学説を否認した。
- ④ 中国での戦場を描いた火野葦平の『生きてゐる兵隊』が、反軍的であるとして軍の攻撃を受け発禁処分を受けた。

問12 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

37

- ① 労働者の団結権・団体交渉権・争議権を保障した労働基準法が制定されたことで、官公庁や民間企業で労働組合の結成があいついだ。
- ② 日本国憲法が謳う基本的人権にもとづいて制定された労働組合法は、労働者が人たるに値する生活を営むための原則を掲げた。
- ③ 労働運動を促進するため、占領軍の命令で国家公務員法が改正され、官公庁の労働者にも争議権が認められるようになった。
- ④ 労働組合運動が盛り上がり、ゼネラル・ストライキが計画されたが、マッカーサーの命令によって中止された。

問13 下線部(j)と同時期の出来事として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

38

- ① 第五福竜丸事件をきっかけに、原水爆禁止運動などの平和運動が全国で高まりを見せた。
- ② 従来の常識に挑戦し、既成の秩序を批判する坂口安吾の『白痴』が出版され、社会に衝撃を与えた。
- ③ 理論物理学者の湯川秀樹が日本人ではじめてノーベル賞を受賞したことから、「科学振興」が盛んとなえられた。
- ④ 公害対策基本法が制定されて7種の公害が規制され、事業者・国・地方自治体の責任が明らかにされた。